



①

現佐賀県多久市に生まれた志田林三郎は、学問所「東原^{とうげんしやうしや}庵舎」で学んでいる頃から神童と呼ばれ、工部大学校電信科（現東京大学工学部電気系3学科の前身）を第1期生（1879年卒）として首席で卒業した。卒業後、スコットランドのグラスゴー大学に留学して物理学、数学等を学び、1年の留学期間にクレランド金賞をはじめ4つもの賞を取った。日本初の工学博士でもある。

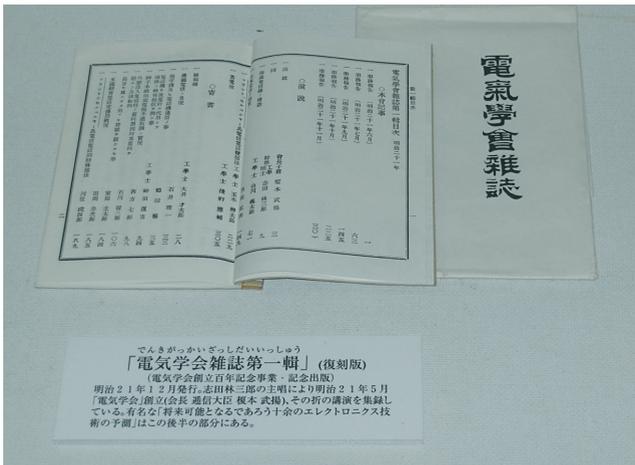
志田は、電気工学の普及、発展を進めるため、電気学会の創設を主唱し、1888年に創立した。第1回電気学会総会では、電気工学が成し得る未来技術（無線、録音、テレビ、送電など）について演説し、その後、これらの技術が次々と実現したため、その先見性が評価された。

志田の故郷に建てられている多久市先覚者資料館には、志田が未来技術を予測した演説が記されている電気学会雑誌第一号の復刻版やグラスゴー大学から贈与されたクレランド金メダルなどが展示されており、電気学会120周年記念事業の一環として始動した「でんぎの礎」の第1回顕彰受賞対象として大変相応しいと言える。

- ☆顕彰先 : 多久市先覚者資料館
- ☆所在地 : 〒846-0031
佐賀県多久市多久町1975
- ☆電話 : 0952-75-3002
- ☆ホームページ : <http://www.city.taku.lg.jp/>（多久市ホームページ）
- ☆アクセス : 多久ICより、車で約20分



②



③



④

（写真提供：多久市先覚者資料館）

- ① 多久市先覚者資料館内の志田林三郎展示コーナー
- ② 多久聖廟に隣接して復元された学問所「東原庵舎」
- ③ 電気学会雑誌第一輯（復刻版）
- ④ グラスゴー大学から贈られたクレランド金メダル